

【 肉用牛 】

1 開催期日 令和8年12月15日（火）～12月18日（金） 4日間

2 講義日程

月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
12月15日 （火）	13:10 ～13:30	開講式
	13:30 ～14:30	肉用牛改良をめぐる情勢 畜産局 畜産振興課 技術第1班 係長 北嶋 光陽
	14:45 ～15:45	アニマルウェルフェアの現状について 畜産局 畜産振興課 アニマルウェルフェア推進班 専門官 遠藤 聡子
	16:00 ～17:30	肉用牛（和牛）育種改良の現状と課題 公益社団法人全国和牛登録協会 会長理事 向井 文雄
12月16日 （水）	8:45 ～12:15	課題討論 「これからの肉用牛改良について」 独立行政法人家畜改良センター鳥取牧場 場長 藤原 信一
	13:15 ～14:15	一貫経営について 株式会社サイトウ農場 代表取締役 齋藤 雄志
	14:30 ～16:00	和牛の改良・ブランド化 兵庫県立農林水産技術総合センター 畜産技術センター所長 岩本 英治
	16:15 ～17:15	和牛の肉質と輸出拡大へ向けた取組 独立行政法人家畜改良センター 企画調整部 改良技術課 係長 本間 文佳
12月17日 （木）	8:45 ～10:15	牛の疾病対策、農場HACCPの推進について 消費・安全局 動物衛生課 保健衛生班 係長 田村 響平
	10:30 ～11:30	肉用牛農場におけるGAPへの取組み 独立行政法人家畜改良センター奥羽牧場 業務課長 齋藤 薫
	12:30 ～14:00 14:05 ～15:25	子牛の健康と生産性向上を図るために 岩手県農業共済組合 基幹家畜診療所 損防課 技術副主幹 田村 倫也
	15:40 ～17:10	和牛の遺伝資源と各地の改良への取組 有限会社北国肉牛商事 代表取締役 小野 健一 （一般社団法人家畜改良事業団 相談役）
12月18日 （金）	8:45 ～10:15	肉用牛の放牧管理 農研機構 畜産研究部門 国産飼料研究領域 大規模草地・放牧グループ 主任研究員 進藤 和政
	10:30 ～12:00	牛肉流通の現状と課題 公益社団法人日本食肉市場卸売協会 専務理事 廣川 治
	12:00 ～12:15	閉講式

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

※講師所属について「農研機構」と記載あるものは「国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構」の通称です

3 開催場所（宿泊等の問合せ先）

独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設

住 所 〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1

T E L 0248-25-7060

F A X 0248-25-6755

4 受講対象者の範囲

国、地方公共団体、畜産関係団体又は農協等生産者団体等の職員で当該分野に配属されて原則 5 年以内の者、農業に従事する者

5 受講者数 40 名程度

6 受講者の留意事項

- (1) 受講者は、宿泊等については研修開始 10 日前までに中央畜産研修施設へ直接申し込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡すること。

- (2) 研修施設への入所は、研修初日の 9 時 00 分～12 時 00 分までに行うこと。

なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等への訪問は避けること。

- (3) 受講者は、共済組合員証（健康保険証）、筆記用具、寝間着等を持参すること。

- (4) 受講生は、課題討論※（12 月 16 日（水）実施）に関して、グループ討論の際の発言用資料（A 4 版タテ 1 枚程度）の作成等事前準備をしておくこと。

具体的には、受講者決定通知時に別途連絡する。

※課題討論について

（目的）設定課題について、現状や課題の整理及び多面的な対応策の検討を行い、課題解決に向けて論理構築等を訓練・学習することをねらいとして実施します。

（実施方法）受講生はグループに分かれ、事前提出資料等に基づいて各グループで討論し（グループ内討論において各自作成資料の発表の場合あり）、その後、全体で各グループの発表を行い、受講者及び助言者と意見交換を行います。

（その他）各受講生の事前提出資料及び各グループ発表資料は、受講者全員に配布します。

本研修に関する問合せ先

農林水産省畜産局総務課調整班 宮本

TEL 03-6744-0568（ダイヤルイン）